

第2回 B中学校（仮称）準備委員会 会議録（概要版）

会 議 名 称	第2回 B中学校（仮称）準備委員会
開 催 日 時	令和7年3月27日（木）午後1時59分から午後3時23分
開 催 場 所	愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1・2
議 長 名	勝田 拓真
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	6人
公開・非公開	公開
傍 聴 人 の 数	0人
議 題	（1）検討部会の報告 （2）中間報告書（案）について （3）今後のスケジュールについて （4）その他
会 議 経 過	別紙のとおり
会 議 資 料	次第 資料番号1－1、1－2、1－3 検討部会の報告 資料番号2 中間報告書（案） 資料番号3 スケジュール（案）
会 議 録 の 確 定	
確 定 年 月 日	署 名
令和7年5月30日	署名者 委 員 長 勝田 拓真 副 委 員 長 水谷 真治

出席者

役職	氏名
委員長	勝 田 拓 真
副委員長	水 谷 真 治
給父町総代（八輪小学校区）	三 輪 好 一
八開中学校学校評議員	吉 川 立 洋
八開中学校学校評議員	細 野 淳 子
佐織西中学校学校評議員	佐 藤 文 昭
佐織西中学校学校評議員	杉 本 隆
開治小学校 PTA	野 崎 勇 志
草平小学校 PTA	渡 邊 幸 愛
西川端小学校 PTA	深 堀 ゆかり
公募委員	鈴 木 幸 子
公募委員	飯 野 大 輔
公募委員	伊 藤 敦
八開中学校校長	市 川 昇
佐織西中学校校長	中 山 政 彦

会議経過

発言者	内容
学校教育課長	1.開会
委員長	2.あいさつ
	3.議事
	(1) 検討部会の報告
(委員)	教育・学校運営部会では、10の категорияに分けて必要な事項を検討した。牛乳の廃棄量が多いことから、フードロスの観点で給食を見直す意見が出た。地産地消による特色ある給食も少子化対策に繋がるという考えである。
(委員)	施設・通学路部会では、八開中学校と佐織西中学校の校務主任から現状報告をいただき、教室の設備やロッカーなど、新しい時代に即した改良が必要との意見が出た。通学路の整備や防犯カメラの設置など、自転車通学の安全対策が課題である。また、災害時の避難場所としての役割も重要との意見が出た。
(委員)	地域課題部会では、視察したにじの丘学園のように、図書室を一般開放したらどうかと意見があった。統合後も中学生が地域行事に参加、協力を続けることにより、地域を盛り上げて欲しい。跡地は防災拠点等として活用して欲しい。安全な通学を確保するとともに新しい学校に通いたいと思われるような魅力ある地域、学校にして欲しい。
(委員)	栄養士を各校に1人配置し、牛乳の提供や小麦粉の使用など、生徒が必要な栄養をとれるような給食を検討してほしい。
	(2) 中間報告書(案)について
(事務局)	教育委員会への1年間の活動報告、新しい委員への引継ぎ、市民の皆様への報告のため、中間報告書(案)を作成した。準備委員会設置の目的、令和6年度に開催した会議の日程について、今後のスケジュール、にじの丘学園の視察と検討部会の報告について記載している。別紙①としてA中学校(仮称)創設に向けた進行計画、別紙②から④として検討部会での意見を付けている。報告書の是非も含めご協議いただきたい。

(委員)	教育委員会への報告前に正式な中間報告書を委員が確認できるか。
(事務局)	議事録と一緒にご覧いただいた後、教育委員会へ報告する。
(委員)	にじの丘学園の視察に関する報告は中間報告書に含まれているのか。
(事務局)	5 ページのその他の部分で、視察に行ったという記載をしている。
	(3) 今後のスケジュールについて
(事務局)	佐織西中学校の施設の状態を調査するため、専門業者に委託して、健全度（耐力度）調査を行う必要があり、必要な予算について、財政部局と協議をすすめている。健全度調査後、改修か改築かを決定し、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計、その後に工事となるため、具体的なスケジュールをお示しすることができない。また、令和7年度から愛知県教育委員会から派遣される指導主事を1名増員し、教育計画、学校運営等、新しい学校に必要な内容の検討に取り組んでいただく。令和7年度の準備委員会は、新たな委員を任命し、10月頃に第1回を予定している。その後、3つの検討部会を行い、2月または3月に第2回準備委員会を開催する予定である。
(委員)	令和7年度の準備委員会は10月まで、検討部会は1月まで何も行わないということでしょうか。時間の足りなかった検討部会もあったようだが。
(事務局)	検討部会で検討していただく内容は、10月の準備委員会でも委員にお示しする予定である。検討部会まで、各委員それぞれ考えていただき、検討部会で検討し、準備委員会へ報告してもらいたい。多少前後する可能性はあるが、現時点での予定ということでお願いします。
(委員)	10月の準備委員会の前に検討部会を開催した方がいいと思う。
	4.その他
(事務局)	会議録について、第1回の準備委員会で諮らなければならなかったが、事務局が失念していた。第1回の会議録については、既に承認いただいた。委員より、会議録の概要版を作ってはどうかという意見をいただく

	た。会議録の体裁をどのようにするか、会議の中で決めていただきたい。
(委員)	会議録はホームページに掲載されるので、見やすい概要版があると良い。
(委員)	賛成である。また、会議の資料も事前に配布してほしい。
(学校教育課長)	次回から対応する。
(委員)	健全度（耐力度）調査の結果を見ないと今後のスケジュールは決まらないのか。
(学校教育課長)	健全度（耐力度）調査の後に、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計を行う予定である。健全度（耐力度）調査の結果次第で、改築または改修の方向性が決まる。財政部局との調整が必要であることから、現状では、先のスケジュールがお示しできない。
(委員)	最短でいつ示せるか分からないか。
(学校教育課長)	健全度（耐力度）調査の結果が出てからになる。
(委員)	目安だけでも記載した方が良いのではないか。
(教育部長)	令和6年12月議会、令和7年3月議会で改築の場合は最短で5年と示している。また、学校を改築もしくは大規模改修する場合は多額の費用がかかるため、財源の確保に関して、市長部局と調整を経て初めてスケジュールがお示しできる。何年を目途に開校という回答については、差し控えていただく。
(事務局)	その他についてもう1点、準備委員会の設置要綱には、準備委員会の委員について、「特定の地位又は職にあるため委員となった者が当該地位等に該当しなくなったときは、委員の職を辞したものとみなし、新たに当該地位等に就いた者を委員として委嘱するものとする。」とある。現時点で分かる方がいれば、教えていただきたい。なお、公募委員の方は2年間の任期であるので、来年度も引き続きお願いしたい。
【委員長】	本会議が今年度最後となるため、要望や感想を一言ずついただきたい。

(委員)	また何か協力できることがあれば、ご協力させていただきたい。
(委員)	合併することで得られる経済効果はどのくらいか。
(学校教育課長)	教育効果をもって再編を進めていくため、ご質問にはお答え出来かねる。
(委員)	教育効果はどのようなものがあるか。
(学校教育課長)	中学校は小規模になると、教科専門の教員が配置できないということが1つの理由である。
【委員長】	小規模化したことで行事や部活動に支障が出ることもある。また、少人数の場合、人間関係が固定化するという状況がある。再編して、人数が増えるとそういった状況が緩和されやすいと思う。
(委員)	人数を増やすという考えはないか。魅力ある学校づくりとはどのようなものか。
(学校教育課長)	魅力ある学校づくりで人数を増やす事に貢献したいと考えている。
(委員)	魅力ある学校づくりとは、具体的にはどのようなものか。
(学校教育課長)	今後の検討課題である。
(教育部長)	学校適正化は、小規模校を否定するという考えに立ったものではなく、小規模校の良さがある中でも、教育的な観点から、学校適正化によるメリットが大きいと判断した。生徒の教育的な観点から、よりよい学校のあり方を第一に考えて、準備委員会でご議論をいただいているところである。魅力のある学校については、教育委員会が主導するのではなく、地域の方々にご参加いただき、検討部会、準備委員会でのご意見を踏まえて、学校の運営方針等を新たに作っていくことをもって魅力ある学校づくりを行っていきたい。
(委員)	再編を進めて欲しいが、財源問題等により、長くかかりそうだという印象である。
(委員)	少人数よりも大人数の中で、試合、競争意識、協調性を育てていただきたい。また、私は佐織西中学校の学校評議員として、令和8年3月31日までの委

	嘱状をいただいている。来年度は次の方となる。
(事務局)	学校評議員を辞められるということであれば、令和7年3月31日で委嘱が終了する。
(委員)	1つの事業を成し遂げるには大変は下準備がいることが分かった。良い経験をさせてもらった。
(委員)	再編するのであれば、良い学校にしてほしい。また、にじの丘学園の視察に関する報告書を作成してほしい。私は今年度で終わりである。お世話になった。
(学校教育課長)	検討部会でにじの丘学園の感想をいただいたため、記録が残っていれば、そこでまとめたい。
(委員)	委員の皆さんが積極的に前向きに子どもたちのために話し合おうと考えてみえることが分かった。来年度もできる範囲で検討していきたい。
(委員)	にじの丘学園の視察資料を配付して欲しい。検討事項は保護者間で共有し、次回の検討部会で発言したい。
(委員)	八開地区の中学校が無くなることは重大なことである。せめて10月の準備委員会の前に1度顔を合わせる機会があれば良い。
(学校教育課長)	スケジュールについては、いただいた意見をもとに検討していきたい。
(委員)	津島中学校に多くの生徒が進学する。魅力ある学校を作るために、スケジュールや跡地利用のビジョンは大事だと思う。
(委員)	少子高齢化がどんどん進んでいるため、スピード感をもって進めて欲しい。
(教育部長)	皆さんの意見を踏まえ、スケジュールの見直しを行い、取り組みたい。
【副委員長】	人数が減ることに危機感を持っている。部活や体育大会ができなくなると、学校へ行く楽しみが無くなってしまわないかと思う。そういった部分を重視して検討を進めて欲しい。

(委員)	中学校の生徒のために様々な議論を重ねていただき、心配もいただいていることについて、まずもって感謝申し上げます。今後、検討部会で話し合っただき、出た議論をもとにどのような形が生徒にとってよいのか、考えてまいりたい。
(委員)	今のところ、両校での交流はない。ただ、今日の準備委員会、検討部会で話し合われた内容をもとに、こういったタイミングで交流しなければならないかということを考えてまいりたい。